

防災だより

その37

防災専門官

野田 秀敏

台風・避難・情報

について

「平成30年7月豪雨」は、220人以上の死者・行方不明者が出るなど西日本地域に甚大な被害をもたらしました。市では、「①避難準備・高齢者等避難開始②避難勧告③避難指示(緊急)」の避難情報を発令して市民の皆さんに、注意と避難を呼びかけました。三条台区では土砂による家屋・道路被害、他地区でも床上浸水や土砂災害が発生。降水量は461ミリで平成19年

台風の強さ

階級	最大風速
強い	33～44m/s未満
非常に強い	44～54m/s未満
猛烈な	54m/s以上

台風の大きさ

階級	風速15m/s以上の強風域半径
大型(大きい)	500km～800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

大型・超大型台風の比較図 (気象庁)



の360ミリの大きく上回りましたが、幸いなことに命にかかわる被害はありませんでした。この7月豪雨で地形・地盤が緩んでいるところもあります。9月に入り台風本番を迎えるので、事前準備をしっかり整えましょう。

台風への備え

- 事前の備え
 - ・懐中電灯、携帯ラジオ、飲料水、非常持出品を準備。
- 情報の収集
 - ・気象情報、市からの避難勧告・避難指示(緊急)などの防災情報に注意。
- 風が強くなる前に
 - ・庭、ベランダを点検し飛ばされるものは屋内に移動するかも固定する。

避難準備情報一覧

避難準備・高齢者等避難開始

- ・避難に時間のかかる人(お年寄り、体の不自由な人、障がいのある人、小さな子どもがいる人など)とその避難を支援する人、土砂災害の危険や浸水想定区域にお住まいの人は避難する。
- ・避難場所への避難が困難な場合は、2階や近くの安全な建物に避難する。



避難勧告

- ・速やかに避難を開始する。
- ・外が危険な場合は屋内の高い階に避難する。



避難指示(緊急)

- ・今すぐに避難する。
- ・避難する時間的余裕がない場合は、命を守る最低限の行動をとる。

- 不要不急の外出を避ける
 - ・雨風が強まってからの外出は控え、山沿いや川など危険な場所には近づかない。
- 屋外作業を控える
 - ・屋根補強中の転落事故も起こっています。強風時の屋外作業は控える。

避難勧告と避難指示(緊急)の違い

「避難勧告」

- ・被害が発生する危険度が高まった状況です。
- ・速やかに避難を始めてください。
- ・土砂災害や河川など浸水の危険があれば避難しましょう。
- ・外出が危険な場合は、建物

のより安全な場所へ避難しましょう。

「避難指示(緊急)」

- ・被害が発生する危険度が非常に高い、あるいは被害が発生し始めた状況です。
- ・今すぐ避難してください。
- ・避難する時間的余裕がない場合は、命を守る最低限の行動をとってください。

緊急時には自ら情報収集を!

災害時には皆さんが自ら積極的に情報を入手することも大切です。各種災害情報配信サービスに登録しておきましょう。

- Vネット(災害情報等配信サービス)【太宰府市】

電話やファクスで情報を入力できます。登録申請書を記入し、防災安全課へ提出。詳しくは防災安全課までお問い合わせください。

- 防災メール・まもるくん【福岡県】

メールで情報を手でできます。mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.jpへ空メールを送信し、返信メールに従って登録してください。



SNSでも災害情報を発信します

- ツイッター

太宰府市 (@DazaifuCity)

- フェイスブック

太宰府市 「歴史とみどり豊かな文化のまち」

自然災害は、想定以上の被害をもたらします。危険を感じたら早めの避難を心がけましょう。また、台風は離れていても周辺の雨雲が豪雨をもたらすこともあります。気象情報には注意しましょう。